

注意

ご購入直後の1回目の充電、及びトランスミッター本体のパワースイッチをONにしたままで長期間放置され過放電になっている場合は、1回の充電で十分に充電されないことがあります。その場合は2回充電するようにしてください。また、過放電の状態によっては電池をいため使用不能になる場合もありますので、トランスミッター本体の電源インジケーターが点滅したら本体の電源スイッチをお切りください。

故障かな？と思う前に

●トランスミッターの電源が入らない

- 電池が入っていますか？
- 充電池は充電されていますか？
- 電池の極性は正しいですか？

●音声が出ない

- レシーバーの出力の切り換えは確かですか？
- 接続した機器のボリュームを絞っていませんか？
- マイクロホンがトランスミッターの入力端子にしっかり差し込まれていますか？

●フル充電しても直ちに電池がなくなってしまう

- メモリー効果を起こしている可能性があります。一度使い切ってからまた充電してください。

上記の操作をしても改善されない場合は、充電池の寿命（約750回充電が目安です）と思われます。新しい充電池と交換してください。

テクニカルデータ

システム

変調方式	：FM周波数変調
周波数特性	：150～10,000Hz
到達距離	：Lo 約15m／Hi 約20m （ATIR-R22／R33, ATIR-A40 使用時）
連続使用時間	：専用電池 7時間（Lo時）／4時間（Hi時） アルカリ乾電池 6時間（Lo時）／3時間（Hi時） 〔LR6(G)松下電池工業(株)〕

トランスミッター・ATIR-T25/T35

搬送波周波数	：Aチャンネル：2.06MHz(T25) 3.20MHz(T35) Bチャンネル：2.56MHz(T25) 3.70MHz(T35)
変調方式	：FM周波数変調
チャンネル数	：2チャンネル
消費電流	：360mA（TYP）（Hi時） 200mA（TYP）（Lo時）
使用電池	：ニッケル水素充電池（本体に実装済み）、 または単3形アルカリ乾電池×2（緊急時）
入出力端子	：φ2.5ミニミニジャック（音声入力） φ3.5ミニジャック（赤外線出力）
外形寸法	：W60×H120×D22.5（ベルトクリップ除く）
重量	：130g（電池含む）
付属品	：チャンネル識別シール （Ach,Bch 各1枚）

光送信マイクロホン・AT829IR

型式	：ラベリア・コンデンサー型
指向特性	：単一指向性
周波数特性	：150～10,000Hz
感度	：－50dB（OdB=1V/1Pa, 1kHz）
出カインピーダンス	：2kΩ
赤外光波長	：870±30nm
コード	：φ3.5、1.0m長
プラグ	：ミニ+ミニミニL型プラグ
重量	：約40g（クリップ含む）

＜別売オプション＞

- ニッケル水素充電池（組電池）RB3H ￥2,400.
- 充電器 BC700 ￥20,000.

（改良などのため予告なく変更することがあります。）

製品保証及び修理などにつきましてはお買い上げのお店、または別紙記載の弊社営業所までお問い合わせください。

100

環境保護、資源リサイクルのため
古紙配合率100%再生紙を使用しています。

142312470

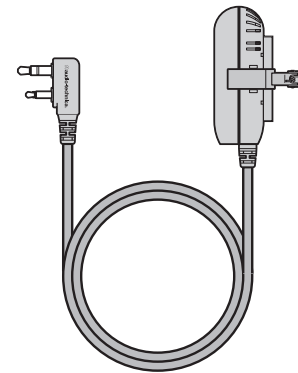
取扱説明書

赤外線コードレス・ マイクロホン・システム

ATIR-T25/T35 トランスミッター



AT829IR マイクロホン



⚠ 注意

- 分解しないでください。
- 強い衝撃を与えないでください。
- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温やほこりの多い場所に置かないでください。
- 湿度の高い場所に置かないでください。また水がかからないようにしてください。誤って水が入ると故障や火災の原因になります。
- 同梱のポリ袋は幼児の手の届かない所に置いてください。また火のそばに置かないでください。
- 汚れたときは乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

 **audio-technica®**

お買い上げありがとうございます。
本機は電波ノイズの影響が少ない赤外線を利用したコードレス・マイクロホン・システムです。
ご使用の前にこの説明書を必ずお読みください。
また保証書と一緒にいつでもすぐ読める場所に保存しておいてください。

特長

- かんたんな操作で送信チャンネルAch、Bchの切り換えが可能。
- 部屋の大きさにより赤外線出力が切り換えられる省電力タイプ。
- トランスミッターは専用充電池とアルカリ乾電池の兼用方式。7時間連続使用。（専用充電池で出力切換スイッチLo時）
- ラベリア型マイクロホンで会議などのビジネス用に最適。
- 持ち運びに便利な軽量コンパクトサイズ。
- 簡単に装着できるタイピンクリップ付きで取り付け角度も調整可能。
- トランスミッターはベルトにクリップ可能。

⚠ 電池の注意

- 長い間使わないときは電池を外しておいてください。長時間連続使用された場合は早めに新しい電池と交換してください。
- 電池は幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、飲み込んだ場合は医者、病院などで処置を受けてください。
- 液もれが起きた場合は、バッテリーケースに付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。万一、もれた液が身体に付いた時は、水で洗い流してください。
- 電池が漏液したり、変色・変形、その他今までと異なることに気づいたときは使わないでください。
- 電池を分解、改造しないでください。

- 使用電池はアルカリ・タイプをおすすめします。使用期限をご確認ください。期限切れの場合、使えない場合があります。

 **audio-technica®**

株式会社オーディオテクニカ

プロオーディオ営業部プロフェッショナルSS課
http://www.audio-technica.co.jp/proaudio

各部の名称と機能

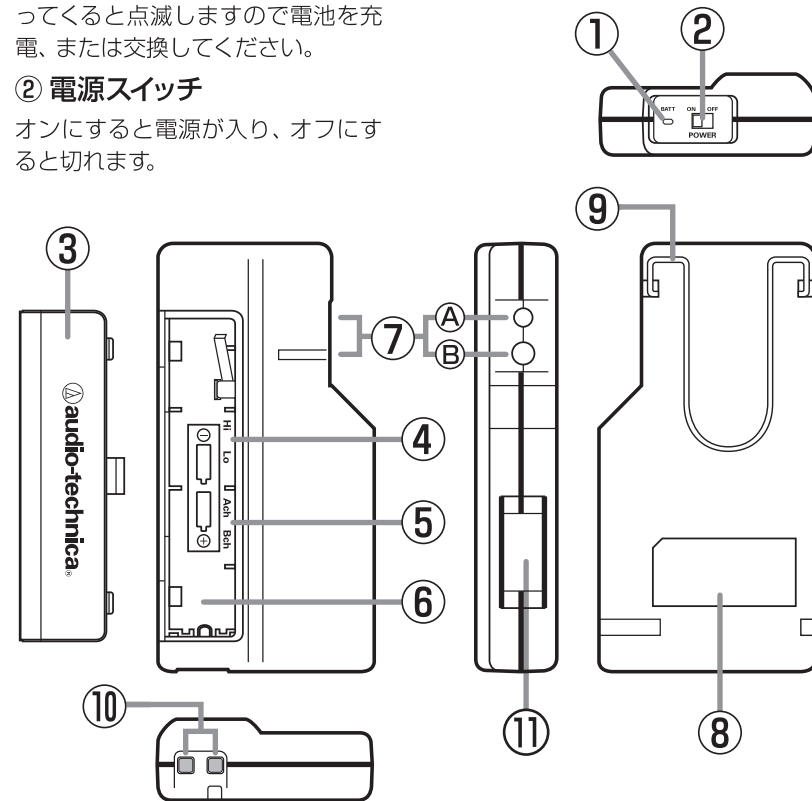
トランスミッター ATIR-T25/T35

① バッテリーインジケーター (BATT)

通電時、点灯します。電池容量が減ってくると点滅しますので電池を充電、または交換してください。

② 電源スイッチ

オンにすると電源が入り、オフにすると切れます。



③ バッテリーカバー

④ 出力切り換えスイッチ

赤外線出力をHiとLoに切り換えるスイッチです。(工場出荷時はLoに設定) 赤外線の到達距離はLo15m/Hi20m以内です。

⑤ チャンネル切り換えスイッチ

AチャンネルとBチャンネルを切り換えるスイッチです。

(工場出荷時はAchに設定) 設定したチャンネルに合わせて⑪に付属の識別シールを貼って、ご使用ください。

⑥ バッテリーケース

当社専用の充電電池、または単3形アルカリ乾電池を入れます。

⑦ 音声入力端子A+光出力端子B

付属のマイクロホンのプラグを差し込みます。

⑧ 定格シール

⑨ クリップ

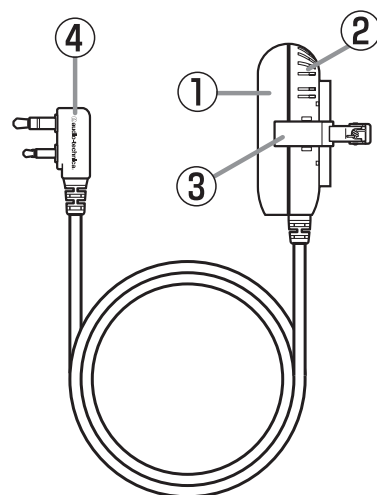
ベルトなどに差し込みます。

⑩ 充電端子

専用の充電器(BC700)で充電する時に使用します。

⑪ チャンネル識別シール貼り付け面

マイクロホン AT829IR



① 発光部

この面より赤外線が発光します。衣類などで覆わないでください。

② マイク

音声入力用のマイクロホンが内蔵されています。

③ タイピンクリップ

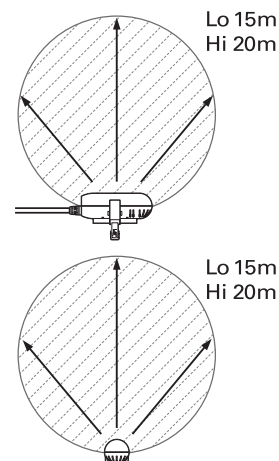
マイクロホンの固定用クリップです。縦横に90°向きを変えて使用することができます。

(一旦ネジを外し向きを変えて取り付けます)

④ 接続プラグ (ミニ+ミニミニプラグ)

トランスミッターの入力端子に接続します。コードの長さは約1mです。

赤外光の発光範囲 (参考値)

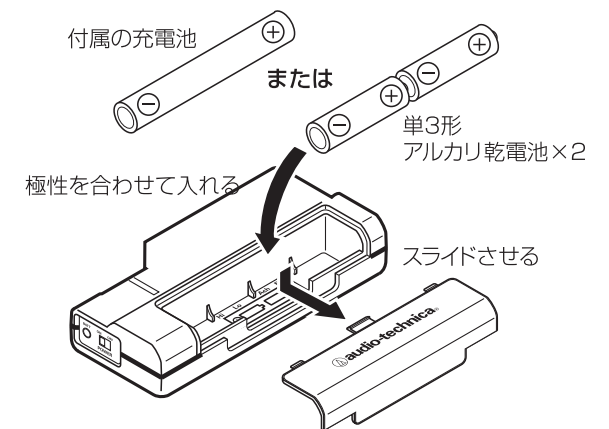


注意

赤外光の発光面は、手や衣類で覆わないでください。

電池の入れかた

- トランスミッターの電源オフを確認します。
- バッテリーカバーの天面の **audio-technica** ロゴ部の中央を親指で押さえ、スライドさせると開きます。
- 付属の充電電池、または単3形アルカリ乾電池をバッテリーケース内の極性に合わせていれます。
- バッテリーカバーを取り付けて完了です。

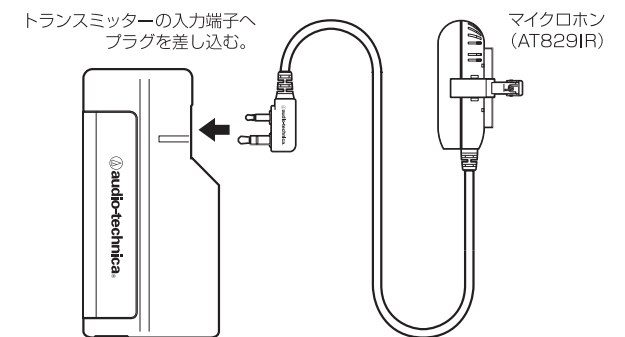


⚠ 充電電池取り扱い上の注意

- 充電電池に貼ってあるビニールカバーを剥がさないでください。ショートして電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因になることがあります。
- この電池はATIR-T25/T35、ATIR-T22/A、B (別売)、ATIR-T33/A、B (別売) 専用です。他の用途に使用しないでください。
- 専用充電器以外では充電しないでください。
- 使用温度範囲

放電 (機器使用時)	: -10℃ ~ +40℃
保存	: -20℃ ~ +40℃
充電	: +5℃ ~ +40℃
- 初めて使用の場合に、サビや異臭、発熱、その他異常と思われるときは使用しないでください。
- 電池を寒い戸外 (+5℃以下) や、ひえたまま (+5℃以下) で充電しないでください。

マイクロホンのつなぎかた



使いかた

* 接続する機器の取扱説明書を併せてお読みください。

- トランスミッター (充電電池) を充電します。(充電器は別売のBC700をご使用ください)
- 付属のマイクロホンをトランスミッター本体の入力端子に接続します。
- レシーバーの電源を入れ、電源インジケーター (POWER) の点灯 (レッド) を確認します。
- トランスミッターのチャンネル切り換えスイッチをAch、またはBchに設定します。
- トランスミッターの出力切り換えスイッチをLo (15m以内)、またはHi (20m以内) に設定します。(到達距離は室内の状況により変化します。)
- マイクロホンに付属のクリップを取り付け、胸部中央に取り付けます。(この時マイクロホンの発光部が体と反対側に向くように取り付けてください)

- トランスミッターの電源スイッチ (POWER) をONにし、バッテリーインジケーター (BATT) の点灯を確認します。(点滅した場合は電池を充電、または交換してください。)

※ 音量はお手持ちの機器、または別売レシーバー (ATIR-R22/R33など) のボリュームで調整します。

使用上の注意

- 赤外線発光部は手や衣類などで覆わないでください。
- 赤外光の到達距離は壁、天井や床などの色や材質によっても変わります。
- 到達距離とは無関係にノイズが発生することがあります。その場合は、別売の受光ユニットを適切な位置に取り付け直してください。
- レシーバーは当社ATIR-R22/R33をご使用ください。